

“認定看護師”ご紹介

原田病院には現在、2分野2名の認定看護師が在籍しています。



糖尿病看護認定看護師
庄子 千鶴満

糖尿病は、日本の20歳以上の男女で約950万人の患者がいる「生活習慣病」の一つです。この恵まれた時代、特別に

乱れた生活習慣の人が、糖尿病になるのでしょうか。

患者さまはそれぞれ生活のなかで病気と付き合っています。糖尿病看護認定看護師は、患者さまが生活の中で病気とどう付き合うか、患者さまと共に考え、患者さま自身が気づき、行動を変えていくのを見守るという役割を持っていると考えています。

一人の人間として、患者さまの話に耳を傾ける。これを糖尿病看護の基本姿勢としていきたいと思っています。

患者さまの生活の拠点は地域です。病院と地域の窓口としての役割を担い、病院の内外へ視野を広げた活動をしていきたいと考えています。



皮膚・排泄ケア認定看護師
鳴谷 悦子

皮膚・排泄ケア認定看護師とはいったい何を

する人なのかと思われるかもしれません。

私は、人工肛門・褥瘡(床ずれ)・その他の皮膚トラブルを専門にしています。

入院患者さまだけでなく、自宅で療養されている方やその家族の方などの相談を受け、治療方法や予防方法を検討しています。また病院内では褥瘡の患者さまを2～3回／月 担当の医師と一緒に回診し治療方針を検討しています。

資格を取り1年間認定看護師として活動してきましたが、まだまだ勉強不足でご迷惑をおかけしたことも多々ありました。これから2年目を迎えるにあたり自分の知識を増やし、原田病院での皮膚トラブル・褥瘡発生率が少しでも少なくなるようスタッフと協力し頑張っています。

悩みや不安があればお気軽にご相談ください。いつでもお待ちしております。

認定看護師とは

特定の看護分野において、看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的に、日本看護協会が実施している認定看護師認定審査に合格した、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。

部署紹介 リハビリテーション科

多様な疾患に対応するべく総勢12名の熟練したスタッフがリハビリを実施しています。

診療にあたってはリハビリテーション専門医の指示のもと看護師・ソーシャルワーカーなどの医療チームのメンバーと連携を取りながら患者さまにあった質の高いリハビリを提供できるように取り組んでいます。

高齢化社会の現代、リハビリのニーズは高く、医療から介護まであらゆる分野で求められています。当院では外来通院の方はより積極的に、入院中の方はより早期から、また退院後のご自宅での生活に即したサポートができるよう訪問リハビリと“デイサービス楽々園”でのリハビリをご提供しています。今年4月から言語聴覚士が仲間入りし、嚥下障害に対する訓練や指導・助言なども可能となりました。

私たちはこれからも地域の医療・介護に根ざしたリハビリを皆さまにご提供できるように日々努力を重ねて参ります。

お困りのことがありましたら、お気軽にリハビリ室へお越しください。

リハビリテーション科 技士長 水野 和子



近隣医療機関のご紹介

五月が丘クリニック (佐伯区五月が丘)

「何でも相談して頂けるクリニックを目指して。」
今回は佐伯区五月が丘にあります五月が丘クリニックのご紹介です。

H19年2月に五月が丘に開業し、早いもので今年で8年経ちました。当院は靴を履き替えていただくことのないバリアフリーで、体の不自由な方も安心して来院して頂けるよう心がけています。また駐車場もそばにたくさん用意しており、坂の多い団地でも来ていただければと思います。

内科全般を診させて頂いておりますが、専門分野は消化器です。その中でも胃や腸といった消化管の疾患が得意分野で、胃カメラや大腸ファイバー、消化管を含めた超音波診断に特に力を入れております。早期の癌の発見、急性虫垂炎(盲腸)などの急性腹症の診断に注力し、必要に応じて他病院に紹介したりしながら、少しでも地域医療に貢献出来るよう心がけております。

原田病院さんはいつもすぐに対応して頂き、患者さんからも大変喜んで頂いております。

今後とも何かありましたらお気軽にご相談ください。

五月が丘クリニック
院長 二神 浩司



- 所在地 〒731-5101 広島市佐伯区五月が丘5丁目20-9
TEL.082-941-7373 FAX.082-941-7375
- 診療科目 内科、胃腸科、消化器科
- 診療時間 午前 9:00～12:30 午後 15:00～18:30
- 休診日 (水曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日)
- 駐車場 12台



医療情報

在宅透析について

在宅血液透析(HHD)とは、自宅で血液透析を行うことを言います。

現在、日本の血液透析患者数は約32万人です。その内、在宅血液透析を選択されている患者さまは約470名おられ、年々増加傾向にありますが、実施している施設はまだ少ないのが現状です。在宅血液透析は自分の生活スタイルに合わせた透析治療を行う事ができます。また透析時間を延ばしたり透析回数を増やすことが可能になるので、長期透析に伴う合併症の予防や、食事・水分制限の緩和により生活の質が向上し生命予後がよいと言われています。しかし、自分で針を刺したり、透析機器の操作、準備や片付けの時間、透析装置を設置するために自宅の工事、介助者の協力が必要となります。針の刺し方、機器の操作等に関しては訓練が必要になりますが、それらはすべて透析スタッフが患者さまに合わせた訓練スケジュール、わかりやすい方法で指導を行います。

当法人では現在4名の方が在宅血液透析を行っています。在宅血液透析を始めたことで、透析の間隔が2日空くことがなくなり、身体の調子が良くなった、時間を自由に使えるようになり自分の時間が増えたなどの声をいただいています。在宅血液透析に興味のある方はスタッフにご相談いただくか当法人ホームページをご覧ください。

医療法人一陽会 検索 クリック

原田病院透析室 臨床工学技士 松井 未紀



バスキュラー アクセスについて



一陽会クリニック 看護部
主任 山形 智子

バスキュラーアクセスってなに？

血液透析は、血液を体外に取り出しダイアライザーと呼ばれる透析器(人工膜)を通すことによって、血液中の老廃物や余分な水分を取り除き、浄化した血液を再び体内に戻す治療です。血液透析を行うためには、1分間に200～300mlの血液を取り出し戻すための血液の経路が必要となります。その経路のことをバスキュラーアクセス(vascular access:血液の出入り口:VA)と呼びます(図1)。本稿では、血液透析の約97%を占めるVA＝シャントとして述べていきます。

どんなことに気をつければいいの？

VAは患者さまの生命予後と社会生活を支える命綱にたとえられます。患者さまには閉塞・感染・出血に気を付けるように自己管理の重要性を説明しています。シャントは血液透析をするための目的で作製されるため、シャント肢で血圧測定、採血などを行うことは通常はありません。

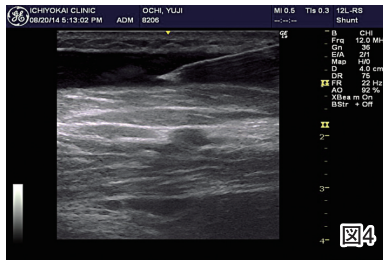
シャントトラブルスコアリング

血液透析を行うとき、脱血用と返血用として16ゲージ程度の透析用留置針をシャントに2本穿刺します。シャントは長期間反復して穿刺されるために様々なトラブルや合併症が出現することがあります。トラブルを早期発見し維持管理を行っていくためには、形態や機能をモニタリングするシャントトラブルスコアリング(表1)の活用が推奨されています。視診・聴診・触診から簡便に形態と機能をモニタリングし、VAトラブルの早期発見につなげています。

VAと超音波装置の活用

近年、シャント狭窄やトラブルの評価に、非侵襲的な超音波装置(エコー)が使われ始めました(図2)。形態評価として狭窄の部位や程度など、機能評価として上腕動脈血流量や血管抵抗指数などを計測し、形態と機能をより詳細に評価することが可能となりました。血液透析患者さまにとって透析継続のために穿刺は必須のものではありますが、痛みや穿刺ミスは多大なストレスにつながります。その穿刺ミスの苦痛を軽減するためにも、エコーが活用されています。穿刺困難なVA症例において、エコーガイド下穿刺を行うことで、血管内と穿刺針の位置を確認しながら穿刺できるため、穿刺ミスの低減につながっています(図3、図4)。

最後に、当院でもこれらの取り組みを行いながら、患者さまの苦痛の軽減や安定した透析とよりよい生活へとつながる支援に努めてまいります。



一陽会クリニック シャントトラブルスコアリング (H)					No. ()		
患者名 () 様			★S	★透析クール(月・午前・夜間・火・午前・午後)			
日付		/	/	/	/	STSのルール	
実測前	1) 狭窄管を聴取	1	1	1	1	※合計3点以上でシャントエコー又はPTAを検討するために スタッフカンファレンス ※各項目で異常なしは0点(空欄)→○をしない ※基準B7B1国/4W(各月の水・木)で実施。「要注意」患者は1回/1Wとする(※別紙PTA表参照)	
	2) シャント肢掌上で吻合部スリル減弱	3	3	3	3		
	3) 静脈血圧(手背部・腕の静脈拡張)	2	2	2	2	コメント	
	4) 狭窄部位置触知	1	1	1	1		
	5) 狭窄部拍動を伴う	2	2	2	2		
	6) 瘻の有無	1	1	1	1		
	直径(タテ×ヨコ)cm	X	X	X	X		
7) シャント掌上腕のへこみの有無	2	2	2	2			
透析中	1) 血管痛の有無	1	1	1	1	※STS実施日の条件やイベントを記入する	
	2) 静脈圧の上昇180mmHg以上	3	3	3	3		
	V圧平均値(開始1h後)					備考	
	3) 脱血不具合(指示血流不能)	3	3	3	3	シャント作成日	年 月 日
抜針後	4) 透析後半1時間での脱血不具合	1	1	1	1	最終PTA実施日	年 月 日
	1) 起立性低血圧の有無	1	1	1	1	シャントエコー実施日	年 月 日
	2) 止血時間の延長 (目安:AVFS～10分AVG15～20分)	2	2	2	2	PTA基準	
合計点(透析前・中・後)						静脈圧() mmHg以上 その他: Fv() 以上、 FV() ml / min) 以下	
サイン							

表1

第6回 高齢者集合住宅研究大会

日時：平成27年5月20日(水)

場所：品川グランドホール(東京)

【演題】

医療法人が運営するサ高住への入居者の期待

医療法人一陽会 クローバーヘルパーステーション

○甲斐慎一郎、大脊戸美代子、原田 学、菊池義孝

【研究の目的】

・同一法人による医療・介護サービスの提供が、「囲い込み」と批判の目が向けられている。自由な選択による必要なサービスの提供は、利用者にとって大きなメリットと考えられるが、法人にとっても情報が共有できることは医療と介護の両サービスの提供に有益と考える。そこで、当施設入居者の介護保険利用の聞き取り調査により、同一法人による医療及び介護サービス提供の在り方を検証した。

【研究の内容、方法】

H27年1月における同一法人内の医療・介護保険の利用の現状分析

・法人外の医療機関からサービスの提供を受けている入居者数
→17人/54人中(入居者H27年1月末)
・介護保険利用率(H27年1/1～1/31利用分。途中入居者や入院者は外す)
→介護保険利用者47人 平均介護度1.7
介護保険支給限度の合計 約861万円
法人内(ヘルパーステーション、ディサービス、訪問看護ステーション)利用額合計551万
介護保険支給限度額に占める利用率 64.1%
自費・実費による介護サービスの提供の合計額 約104万円
・聞き取り調査 44名(H27年1月末入居者54名中 入院者4名・認知症6名は除く)
利用者44名に対して同一法人による医療・介護サービスに対する期待や思いについて聞き取り調査を行った。

【結 果】

聞き取り調査結果により病気に対する不安が高齢者にはある為、医療法人が運営するサ高住に対する安心感は93%と高かった。同一法人によるサービスの利用を行うことにより要介護者の状態を共有し経過的に観察している医療や介護者がいれば疾病の早期発見が出来、適切なサービス提供が行え期待に応えることが出来る。したがって情報を共有し必要なサービス提供、自由な選択があれば同一法人を利用するメリットは大きい。法人・事業所の理念・方針を明確にしていれば囲い込みとの表現は疑問があると思われる。

【今後の課題】

情報共有による効果などのメリットにより同一法人によるサービス提供する傾向もみられるが、提供者である我々が、介護保険制度の趣旨を正確に理解し、またサービス提供の必要性を適切に判断することが「囲い込み」批判を回避できることと考える。介護業界の健全性の確保の一助になりたいと思う。

研究の目的

・同一法人による医療サービス及び介護サービスの提供が、サ高住を運営する法人と入居者に有益と考えられるかをケアレジデンス業々間の事例等を用いて検証する

方法

・各データの調査期間
平成27年1月1日～1月31日

・現状分析

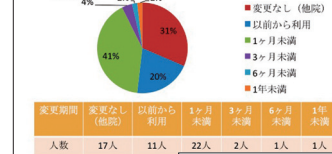
〔当法人以外の医療機関の利用状況
当法人内での介護保険の利用率〕

・聞き取りによるアンケート調査

結果1

当法人の現状①

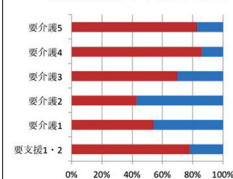
当法人以外の医療機関から介護サービスの提供を受けている入居者数は54人中17人(H27年1月末時点)



結果2

当法人の現状②

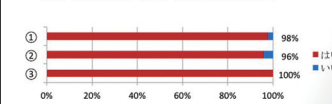
介護保険利用率(平成27年1月)



結果3

聞き取りによるアンケート調査

① 医療法人が運営するサ高住に入居することで生活に対する安心感は持てましたか？
② 現在利用している医療機関、訪問看護、訪問介護、デイサービスに対して満足していますか？
③ 当施設に関連する事業所(ディサービス、原田病院、訪問看護等)が連携していることで安心を感じますか？



まとめ

・同一法人内での医療及び介護に関する情報の共有は、入居者の生活の概ねを継続的かつ網羅的に観察することを意味し、これにより入居者に安心感を与えことになり、サ高住への入居者の期待に応えることが出来る。

・入居者へのサービス提供については、自由な選択の元で必要なサービスを適宜提供することが当然であり、またその環境を築いていくことが肝要である。

管理栄養士 室岡 みほ